

技術のおたずねにこたえて

〔おたずね〕ヒラタケの瓶栽培で、もともと収量が少なかったのに加えてきのこに黄褐色の病気が発生して困っています。良い方法を教えてください。（S市，Y生）

〔おこたえ〕[相談された方の施設を調査したところ以下のことがわかりました]

培地の栄養源として、現場で指導しているフスマではなく、米ヌカを主体として使っている。

発生室の収容ビン数が多い。

拡大培養を繰り返した種菌を使っている。

菌掻きした後、井戸水を用い吸水操作している。

加湿器に井戸水を用いている。

から言えることは、米ヌカは粒子が小さい栄養源なため、菌回りが遅れ、品種によっては収量が減少する。からは、炭酸ガス濃度の上昇が考

えられるが、この施設では換気設備が充実しているため、2000ppm程度であったのでこれが原因とは考えにくい。ちなみに3000ppm(0.3%)を超えると子実体に変形が起こる。の場合、植え継ぎを繰り返すために、バクテリアやカビなどの雑菌、害菌が飛び込む機会が増える。は井戸水中のバクテリアが吸水時に培地を汚染して病気(黄褐色変色病)が発生する。は、井戸水をそのまま加湿器に送ると、そのパイプラインや加湿器の中でバクテリアが繁殖し、これが霧とともに部屋にまき散らされて病気を引き起こす。

病気の原因として考えられるのは ~ ですが、収量がもともと少ないのは の理由によるものでしょう。

したがって、吸水時や加湿器に用いる水を水道水に変えるか、井戸水を消毒する機械を設置します。さらに培地の栄養源をフスマだけにし、植え継ぎ回数もできるだけ少なくするのが重要と思われます。

(林産試験場 微生物利用科)